



# MACHIKADO COLLECTION 2022-'23



粋な人たちがつくる  
まちかどは、かっこいい。



# 静岡市都市景観表彰事業

## 静岡市まちかどコレクション

静岡市まちかどコレクションは、市民の皆様が見つけた市内のすてきな景観(まちかど)を静岡市が表彰することで「この場所に行ってみよう」、「このまちに住み続けたい」と感じてほしいという思いで始まり、今回で5回目を迎えます。

今回も市民の皆さまから、身近にあるすてきな“まちかど”の応募をたくさんいただきました。

その中から、静岡市都市景観表彰選考委員が実際に現地を訪れて、その物件を審査したうえで第5回静岡市まちかどコレクション表彰物件が決まりました。

## 過去受賞物件

2014



エコロジー団地池田の森



パサージュ鷹匠



ロアシズオカ



ホテルガーデン スクエア静岡



三晃社ビル

2016



こんまつ旗店



あまのや繁田商店



泉ヶ谷地区のまち並み



小さな美術館 くにじ庵



オプティークHARUTA 伝馬町店

2018 ~ ' 19



呉六名店街



日本色(NIHON IRO)



由比本陣公園周辺



風土菓庵原屋



茶町 KINZABURO

2020 ~ ' 21



旬菜旬魚 造りの山葵



美術館前動物病院



入宿町のまちなみ



ハニカムスクエア



日本平ホテル



札の辻交差点

詳しくは、静岡市ホームページをご覧ください。

URL: [https://www.city.shizuoka.lg.jp/556\\_000106.html](https://www.city.shizuoka.lg.jp/556_000106.html)



## ごあいさつ



静岡市長 難波 喬 司

本市の景観計画では、多種多様な自然や、歴史と文化を感じる豊かな景観資源を活かし、「都市と自然と人が調和し、心地よさが感じ続けられるまち」を目指しています。

本市は、豊かな「自然景観」や風格ある「歴史景観」、質の高い「文化・都市景観」等、多くの景観資源を有していますが、地域への誇りと愛着を感じさせ暮らしに豊かさとうるおいをもたらす景観には、普段の生活の中で目にする「日常的な景観」も含まれています。そのような「日常的な景観」を「見つけて」「集めて」「広める」取組みがこの「静岡市まちかどコレクション」です。

今回表彰させていただく5物件及び応募のあった物件の関係者の方々には、本市の景観形成に貢献していただいたことに大変感謝申し上げます。本事業は今回で5回目となりますが、これからも市内にすてきな“まちかど”が増えていくことを期待しています。

## 総評



静岡市都市景観表彰  
選考委員会委員長 寒竹 伸 一

静岡市まちかどコレクション2022-'23へのたくさんの応募ありがとうございました。そして静岡市まちかどコレクション2022-'23選考委員会に参加させていただきまして、ありがとうございます。選考していただく委員のみなさんとともに、静岡市の新たなまちかど景観に会える機会を与えていただけましたこと誠に感謝いたします。

まちかどは「まちが見えている」というふうに自分の外にまちかどがあるとしてしまっは、コレクションできません。まちかどは「まちを見る」というふうに、自分が能動的であってはじめてコレクション可能となります。そういった意味において、応募していただいたみなさんの静岡市のまちへの目利きなまなざしに感服です。画家マティスも「見るということは、それ自体で既に創造的作業であり、努力を要するものである」と言っています。

## まちかどコレクションに寄せて



静岡市都市景観  
表彰選考委員会 土屋 和 男

「まちかどコレクション」は、一般の方々の推薦をもとにしている。今回は書類による一次選考で10件を選び、実地および協議による最終選考で、大賞、準大賞、優秀賞を決定した。受賞した5件の推薦者は、20代3名、30代1名、60代2名、70代1名であった（1物件に複数名の推薦を含む）。若い世代が町を観察し、評価していることがわかる。

今回受賞した5件は、美しい緑を市民に開かれた形で見せてくれている2件、田舎の景色を活かしてほのぼのとした場をつくっている2件、私企業が街中に広場を公開した1件であった。緑も敷地も、所有者だけが独占することなく、通りかかる人々や近所のコミュニティに良好な景観を提供している。これらに共通するキーワードは公共性かもしれない。景観は、誰かの所有であっても誰でも見ることができる。人のものだけど私のもの、と思える景観が町を豊かにしてくれる。



## 選考委員より

38STUDIO主宰 陶芸家/芸術家 本原 令子

日本平へ向かう途中、左手へ少し入ったところにある苔聖園は、先代が一代で築いた盆栽業を海外経験豊富な2代目が継いでいる。この辺りは盆栽業が多い。塀に囲まれた敷居の高いイメージを払拭するため、若い経営者の案で透明ガラスの外壁にした。花の咲く鉢は季節のものを入れ換えて設置し、日本の伝統である盆栽を地域の人とも分かち合い、その美しさを発信している。ライトアップされた夕景も見応えがある。今や海外で人気の盆栽。訪問した際にも海外からの研修者が2人居たが、日本で育った文化を見直す機会を創出している。「盆栽は生きた芸術」「盆栽の楽しみをより多くの方に自由に接してほしい」と言う若い経営者の言葉が印象的だった。



## 受賞者より

苔聖園 園主 漆畑 大雅

盆栽園と言えば塀で囲われていて安易に入れないイメージがあり、盆栽を目にする機会は多くありません。

加えて老後の楽しみ、管理が難しいなど、盆栽を育てるきっかけもありません。

盆栽をもっと身近に感じてもらいたく、もっとオープンに、カッコよく斬新にという思いから、道沿いをガラス張りにして盆栽が並ぶショーウィンドウを設けました。

数ある応募の中から大賞に選ばれた事を光栄に思うと同時に、今後も更なる発展を目指し精進してまいります。



## 選考委員より

静岡市 副市長 本田 武志

まちかどにいきなり現れたオープンスペース。民（建築敷地）と公（街路空間）が一体となった都市空間、人のにぎわうたまり場であり、関係者のご努力も含め高く評価したいと思う。今回の選考において、荒天時や緑化などについての意見はでたが、空間自体のインパクトや利用に対する期待感については誰もが認めていたと感じた。都心部ならではの利便性、ワクワク感や、なんなら違和感まで含めて街を楽しむ要素として市民に広く親しんでほしいまちかどである。未来に向け、そんな空間が広がっていくことを願う。

## 受賞者より

静活株式会社 代表取締役 専務 江崎 亮介

今回は栄えある準大賞を頂き、誠にありがとうございます。ARTIEは「アートとエンターテインメントのまちづくり」を掲げており、アートでおしゃれな空間、人と人との交流が生まれる空間を生むべく七間町通り沿いに「アートガーデン」という公開空地を造りました。とはいえ「アートガーデン」は造っただけでは全く未完成で、そこに街の方々の営みやイベントパフォーマンス等の表現活動があって初めて機能します。開業1年強が経ちましたが、静岡にはまちを活性化する優れたアイデアをお持ちの方がたくさんいらっしゃることを知り驚いております。今回の受賞を機に更に多くの地域活性化同志の皆様がこの「アートガーデン」を知って頂ければ幸いです。

# 優 秀 賞

( 景色の扉賞 )

OutdoorLife kano  
kano cafe



## 選考委員より

(一財) 静岡市国際交流協会 静岡県ふじのくに親善大使 マハラジャン ディリブ

新東名高速道路新清水ICから車で約2分程、清水区宍原の古民家や古い工場、倉庫を女性スタッフがDIYした木のぬくもりあふれる暖かみのある雰囲気のアウトドアショップ。静岡県はもちろん全国的にも珍しい自然に囲まれた「体験型カフェ」で、宍原地区のブルーベリージャムや久能地区のイチゴなど県内産品を生かしたスムージー、静岡県産のお茶、自家製シロップを使ったドリンクなどを楽しむことができる。人々の暮らしが息づく静かな里山の中にあり、地元の食材を生かした調理体験もできるのでアウトドアが好きな方、自然の中でリフレッシュしたい方におすすめ。日々の喧騒から離れいつもと違う自然に囲まれた癒しのひとときを体験できる。広々としたテラスから見える山、木々の緑、近くには川もあり、少し足をのばせば手に入る自然の中の解放感はオクシズの魅力であり、その拠点となることに注目しPRしたい。

## 受賞者より

OutdoorLife kano 店長 手塚 千晴

まちかどコレクションに応募していただいた事だけでも喜びを感じておりましたが、この度賞までいただき、スタッフ一同大変喜んでおります。清水区宍原に店をオープンするにあたり、準備の段階から地域の皆様に助けていただきました。今回の受賞により恩返しが出来たような気がします。

これからもこの宍原という自然豊かな地で、キャンプ用品の販売だけでなく、人と人、人と自然が繋がる場所を目指し努力してまいります。のんびりしたい時には、ぜひkanoにお越しください。

# 優 秀 賞

( 地 域 の 宝 賞 )

## 望月竹次郎商店



昭和50年頃の望月竹次郎商店の写真

### 選考委員より

(公社) 静岡県屋外広告協会 magnet-design 代表 松尾 憲宏

清水の小島地区、国道52号沿いにある廃業したガソリンスタンドは、一見見過ごしてしまいそうなよくある風景。しかし、一步店内に入ると地元の子もたちとワークショップしたアート作品や、居心地の良い空間に驚く。それが駄菓子屋カフェ「望月竹次郎商店」である。曾祖父の代から続くこの店は、先代の頃よりガソリンスタンドと角打ちのできる酒屋として、大人たちのたまり場であった。時代の流れとともに業態は変わり、今では大人だけでなく、小学生から地元のお母さん、店主の人柄に引かれた観光客まで、絶え間なく人が訪れる場所となっている。綿々と続く地域のコミュニティと温かさがまちににじみ出たような、まさに地域の宝である。

### 受賞者より

望月竹次郎商店 代表 望月 久美子

大正時代、曾祖父の望月竹次郎が商売を始めてから100年以上。両親の代は、酒屋とガソリンスタンド。時代と共に変容しておりますが、いつの時代も“商店”らしく、小さなお子様からお年寄りまで、誰もが気軽に立ち寄れる地域の居場所として、また、灯台のように、どんな時もみなさんを優しく暖かく灯せるようなお店であり続けたいです。地域の宝賞の名に恥じぬよう、これからも精進して参ります。ありがとうございました。



# 優 秀 賞

(オアシス賞)

## 洋風庭屋オリーブ



### 選考委員より

(公社) 静岡県造園緑化協会 専務理事兼事務局長 藤田 祐司

駿河区中吉田の旧東海道を歩くと、吉田川の袂にある西洋風庭園が目を引き。道路に面したアプローチは、自然素材による明るく開放的な外構空間で、立体的な植栽エリアを際立たせている。限られたスペースに、シンボルツリーや中低木を配置、根元には季節を彩る草花が植栽され、印象派の絵画のようだ。庭に踏み入ると洒落た雑貨もアクセントとなって華やいだ空間に包まれ、草花の話題で話が弾むに違いない。プロのアイデアが凝縮された洋風のモデルガーデンが季節の変化を感じることでできる交流の場ともなって、園芸を楽しむ市民が増えることを期待したい。

### 受賞者より

洋風庭屋オリーブ 大村 ゆかり

オリーブでは、お庭の設計・施工・管理を主軸に、店舗に併設したオープンガーデン横で、植物販売や、植栽アドバイスをさせて頂いております。何より自分で育て、愛しみ、植物と対話しながら空間を創造する喜びをお伝え出来たらと願っています。早朝、草花の手入れをしていると「お花が楽しみでここを通りますよ」と、お言葉を頂戴します。自然素材にこだわり、手作り感のある背伸びしない庭に、植物が彩を添えて、人と植物を繋ぎ、地域コミュニティの場としての一翼を担えれば幸いです。日々厳しくなる自然環境の中、力強い植物の生命力と、お世話をした分必ず答えてくれる植物に癒され、感謝して季節感を提供して参ります。

# 受賞物件MAP

たいしょうえん  
苔聖園



所在地: 駿河区池田1872-2



ARTIE



所在地: 葵区七間町4



OutdoorLife kano·kano cafe



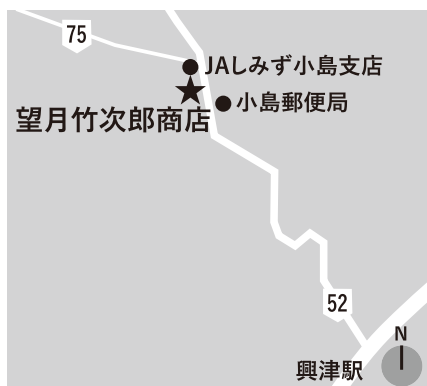
所在地: 清水区央原1169-1



望月竹次郎商店



所在地: 清水区但沼町489-4



洋風庭屋 オリーブ



所在地: 駿河区中吉田48-17



## 選考の流れ

**応募** 令和4年12月19日 ～ 令和5年2月28日  
応募総数:66件

**一次選考** 令和5年6月2日  
選考委員による書類選考

**最終選考** 令和5年7月14日  
選考委員による現地視察と委員会を行い、受賞物件を決定

**表彰式** 令和5年11月2日  
静岡市役所にて表彰式を実施



## 静岡市都市景観表彰選考委員会

**寒竹伸一** (委員長)  
静岡文化芸術大学 副学長 特任教授

**土屋和男**  
常葉大学造形学部造形学科 教授

**藤田祐司**  
(公社) 静岡県造園緑化協会  
専務理事兼事務局長

**マハラジャンディリプ**  
(一財) 静岡市国際交流協会  
静岡県ふじのくに親善大使

**本原令子**  
38STUDIO主宰 陶芸家/芸術家

**松尾憲宏**  
(公社) 静岡県屋外広告協会  
magnet-design 代表

**本田武志**  
静岡市 副市長

## 撮影協力

**岡谷和亨**  
おかや写真事務所

## 印刷製本

佐野印刷株式会社

主催: 静岡市 建築総務課 都市景観推進係

後援: (公社) 静岡県屋外広告協会、(公財) 静岡県グリーンバンク、(公社) 静岡県建築士会、  
(一社) 静岡県建築士事務所協会、静岡県広告美術業協同組合、(公社) 静岡県造園緑化協会、(一財) 静岡市国際交流協会、  
(公財) 静岡市まちづくり公社、静岡商工会議所、(公財) するが企画観光局、(公社) 日本建築家協会東海支部静岡地域会、  
朝日新聞静岡総局、産経新聞社静岡支局、テレビ静岡、時事通信社静岡総局、静岡朝日テレビ、  
静岡新聞社・静岡放送、静岡第一テレビ、中日新聞東海本社、毎日新聞静岡支局、読売新聞静岡支局、NHK静岡放送局



あなたが一番好きなまちかどは？



静岡市都市景観表彰事業  
静岡市まちかどコレクション

